



令和7年度 私立学校初任者研修 九州地区研修会

<写真は令和6年度研修会の様子>

私立学校初任者研修は、私立学校に新たに採用された先生～教員歴5年程度の先生を対象とした研修会です。九州地区研修会は福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の各県から毎年多くの先生方が参加し、研鑽を積んでいます。

会 期 令和7年7月2日(水)～7月4日(金) 2泊3日
研修会場 ホテルグランデはがくれ(佐賀県佐賀市)
参加費 46,000 円

参加ご希望の方は、別紙「実施案内」の参加申込書を各県私学協会宛に郵送してください。

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会・九州地区私立中学高等学校協議会
実施 佐賀県私立中学高等学校協会

九州地区初任者研修会では

1. 私学教育を知る

これからの時代を生きる生徒たちに求められる教育の在り方や、私立学校ならではの「建学精神」の重要性について講義を通じて学び、深く考え、「私学人」としての意識と自覚を高めます。学校という日常の世界からここで一度外の世界に目を向けて、私学教員となった自分の姿を客観的に見つめてみましょう。

2. 生徒指導等のスキルアップをはかる

日々の仕事の中で出会う様々な教育課題を採り上げて、こうした課題に取り組んでいらっしゃる経験豊かな講師をお招きして、お話しをうかがいます。その講義をもとにグループ討議を行い、参加者同士が情報共有や意見交換を重ねて知識を深め、スキルアップを図ります。今年度は、①いじめ問題対応、②特別支援教育、教育相談 等について、多くの時間をかけて研修します。



「事前レポート」に研修前の自分の考えをまとめる。それを起点として⇒「講義」を聴いて新たな知識や技能を修得する。それを参加者が持ち寄って⇒「グループ討議」「グループ発表」を行って…、という研修プロセスは初任教員の皆さんにはハードかもしれません。でも仲間との協働で得た成果によって、最後には「私も二学期からまた新たな挑戦を…」、という意欲が湧いてくるはずです。



3. 他校の先生との交流を通じてネットワークをつくる



教育上のテーマを決めた講義やワークの研修も大切ですが、参加者同士が日常の悩みや不安を語り合い、励まし合いながら、私学教員間にネットワークを構築することも、この初任者研修会の大きな目的です。「経験交流会」の時間も設けていますので、参加者の皆さんはぜひ、自分の新しいホームグラウンドを作ってもてはいかがでしょうか。

前年度参加者の声（参加者アンケートより）

研修Ⅰ「プレ 22 世紀型教育に向けて時代を動かすレバレッジポイント」

- 少子化が進む中、私立学校として建学の精神に基づいた一斉の先進性が求められる。自由な社会的耐用性の原理に立脚し新しい学校の姿をデザインするために教師が先駆けて世界を読み、生徒に何が必要なのかと問う必要がある。
- 教育の潮流が激変する現代、22 世紀型教育では何が求められているか、私学が果たすべき役割は何か、考えさせられた。

研修Ⅱ「『従来型教育からの脱却』～多様性という言葉の落とし穴～」

- 多様性の尊重とは、一部弱者のクローズアップという近視眼的な考えに陥っていた。様々な価値観背景を持つ生徒、それぞれが導く評価される必要があることに気付かされた。
- 考え方の大切さ、当たり前ができない生徒へのアプローチ、また当たり前ができていない生徒を当たり前ですませていいのか？という話が本当に心に残り、自分の行動を振り返ってみる事ができた。

研修Ⅲ「やる気を引き出す学習する空間づくり」

- 自ら見つめ直して取り入れたいことがたくさんあった。例えば指導において余白が大事なこと、発問の順序で生徒の思考が変わること、縦の関係など、自分が楽しいし、生徒も楽しい授業づくりを行いたい。
- 生徒からの見え方聞こえ方が、やる気を引き出す学習する空間づくりにとても重要だと分かった。授業は 30 秒で決まるということで、授業の入り方、教室に入るところから意識したい。学ぶことは楽しいことだと生徒に気付かせるために、教員が楽しそうな姿を見せることが重要だ。

研修Ⅳ「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善」

- アクティブ・ラーニング（AL）が主流になってきている中で、先生たちもどのようにALを活用していくのかという壁にぶつかっていたのではないかと。今回その壁を壊すきっかけになったのではないかと。
- AL が大切であることは理解していても、何が出来れば AL の学びとして、それが活かされるかまでは理解できていなかった。R80(80 字の文章メソッド)に初めて取り組んでみると難しかったが、生徒にもぜひチャレンジさせたい。

グループ討議 1 （研修Ⅲ）を受けての討議

- グループでの討議を通して、様々な先生の工夫されている点を知る事ができ勉強になった。具体的な授業の入り方や発問の仕方なども意見を出し合いながら考えることができ学びを深めることができた。
- 授業の入り方、空間づくり、生徒との関係、発問の仕方の 4 つに分け、意見を交えながら新しい考え方を学ぶことができた。学校によって取り組みの違いなどを理解し、今後につながるものとなった。
- 初めて他の学校の先生方の意見を聞くことができた。自分の意見を発し、共有、共感、指摘してもらうことによって自信にもつながった。もっとコミュニケーションを取るよう積極的に参加したい。
- 講義では縦の関係が大切と言われていたが、グループでは横のつながりも大切にしたいという意見も多く、縦も横もバランス良く大切にしていこうと学習する空間作りができあがっていくのではないかと。

グループ討議 2 （研修Ⅳ）を受けての討議

- 他の学校の AL の活用やその成果・課題を討議することができ、より理解を深めることが

歓迎の言葉



私立学校初任者研修
佐賀県 地区運営委員
土井 研一
佐賀清和中学校・高等学校
校長

これからの九州の私学を担う先生方を佐賀にお迎えし、令和7年度私立学校初任者研修九州地区研修会を開催できることを心から感謝申し上げます。先生方と学ぶ機会をいただいて、私自身がワクワクしています。

未来からの留学生である子どもたちにとって、「何を学ぶ」「何処で学ぶ」がとても大切になっています。つまり、少子化が進む中で選ばれる学校になることが、私立学校において重要なことです。そのためには、学校の「現状打破」が必要とされているのです。先生方の「気づき・考え・実行する」姿勢が求められています。

さて、今回の研修会では、学校現場の大きな課題である生徒・保護者対応の中から、いじめ問題への対応と、配慮の必要な生徒への学びのサポートをとりあげます。講義をもとに、それぞれの現場での事例を交えて交流するグループ討議と発表に取り組むよう計画しています。参加すれば元気倍増！の研修会です。

最後に、九州各県からの先生方のご参加を万全の準備をしてお待ちしています。また、本研修会開催にあたり、準備からご尽力いただいた皆様に心から感謝を表してご挨拶いたします。

研修会場アクセス

ホテルグランデはがくれ 〒840-0815 佐賀県佐賀市天神2丁目1番36号 [Tel0952-25-2212](tel:0952-25-2212)
JR 佐賀駅から徒歩5～6分

